

十カ町会 町並み景観通信

発行日 平成6年10月19日
発行 十カ町会
編集 十カ町会町並み景観委員会

■ 十カ町会のあゆみ

□ 自治会長が集まった

この会は、北部町づくり自治会長会議として始め9自治会（喜多町、元町1丁目、元町2丁目、大手町、幸町、末広2丁目、松江町2丁目、仲町、連雀町）で発足しました。始めは、市役所が町づくりの案を提案したものについて承認をするために市役所の音頭取りで集められたのですが、われわれ住民側としては、事前説明もほとんどなく到底受け入れられるものではありませんでした。昨年の11月30日が発端でした。そして、本年3月に集まって出た結論が北部地区の町づくりについては、全てを白紙に戻す、というものです。そして、自分たちで月1回会合を開いて、北部地区の町づくりの勉強会を開くことになりました。この町のことを隅々まで知っている自分たちで町づくりを考え、その結果を市役所に提示していこう、ということになったのです。

□ 十カ町会スタート

4月からは、宮下町1丁目が加わり、名前も「十カ町会」と決まり、正式にスタートしました。役員も決まりました。ちなみに次の通りです。

会長
幹事
幹事
会計

5月には、会則が決まりました。ここで、住民の自主性により、町並み景観を守りつつ、豊かな環境を保全しつつ、より住みやすい町をつくっていくことが目標として掲げられました。このころ、「十カ町会」が発足し、北部地区の町づくりを考えていこうとしているといったようなことが皆さんの自治会でも総会などの場で各会長さんよりお聞きになっているかと思いません。

6、7、8月の3か月にわたって川越の町についての勉強や、各地の伝統的建造物群（略して伝建といいます。）の勉強をしまいにしました。この勉強会を通して、北部地区の進める町づくりの中核は、伝建であるとの認識を深め、十カ町会の中心課題として今後進めていくことを十人の自治会長の総意として確認しました。また、夏に川越で始めて開かれる町並み関係者の全国大会、第16回全国町並みゼミ川越大会へむけの取り組みについても話し合われました。

□ 町並みゼミにも 参加しました

この大会は、歴史的町並みを生かした町づくりを行っている団体が年に一回全国から集まって情報を交換する唯一の場です。新聞や回覧等でこの大会が開催されたのをご存じの方もたくさんいらっしゃると思います。大会の実行委員長には、川越市文化財保護協会の会長も努めている元町2丁目の自治会長の木下さんがなられ、全国から集まった500人以上のお客様あいに大活躍でした。

8月22日には分科会が開かれました。第1分科会は、市立博物館で開かれ、伝建についてのパネルディスカッションが行われました。その席に私たち十カ町会の面々も聴衆として参加しました。その場でも、全国の方々から（研究者や伝建地区の住民）から川越もぜひとも伝建の指定を受けるべきだとの意見を多く頂きました。町並みゼミの詳細は、追々報告していきたいと思っています。

十カ町会でも「夜の勉強会」を初音屋で開催しました。伝建先進地区として、長崎、樫原（奈良県）、富田林（大阪府）の住民と市役所の方をお呼びして本音を語っていただきました。この席には、自治会長だけでなく、各町内から2～3人づつご参加いただき、お互いに親睦をはかりながら伝建を感じていただきました。この席でも、川越方式の伝建を考えながら進めるべきだというようなお話が各地の方からいただきました。



第16回全国町並みゼミ
川越大会キャラクター

□ 町並みを作ろう

10月には、自治会長とそれをお手伝いして次代の町づくりを担っていく方々が集まって懇談会を開きました。参加した方々に北部地区の町づくりについて語っていただいたところ、お祭り、交通等のさまざまな問題があることが話題としてのぼりました。今後、これらの問題を一括で扱うことは不可能ですので分科会等を作って、ひとつひとつみなさんといっしょに考えていきたいと思っています。

12月にも、10月と同じように各町からたくさんの方に集まっていただきました。市役所の職員の方にも参加いただきいっしょに懇談をしました。そのなかで、市役所としても私たちの考えている伝建を積極的に進めていきたいとお話がありました。

この時より、マンション問題でゆれていた志多町が加わりました。合計11の自治会になりました。

私たち十カ町会は、以上のような経過をたどってまいりました。とりあえずは、今持っているすばらしい町並みを活かしながら北部地区を活性化することを考えることを重点的に作業していきたいと考えています。それに付随してさまざまな問題が提起されることと思いますが、皆さんの知恵を結集して未来に誇れる町づくりを進めていきたいと考えています。色々な提案をしてくださる方、一緒に作業をしてくださる方は各自治会長までお申し出ください。ぜひ一緒にこの町の未来を考えていきましょう。

□ 専門委員をつくろう

1月～3月にかけては、町づくりを実際に担っていく専門委員を作り、そこで具体的な話を進めていくということになりました。そこで、各町から3名ずつ推薦してもらうことになったのです。

□ 専門委員会発足

各町から推薦を受けた人達の最初の会合が元町2丁目の六塚会館で開催されました。

北部地区で抱えている問題を大まかに整理しながら大きく3つに整理しました。そして、それぞれを専門の分科会とすることに全員の合意がえられました。その専門委員会は、以下の3つです。

- ① 町並み景観
- ② 商業活性
- ③ 生活文化

今後は、これらの専門委員会を中心に十カ町の問題を話し合っていくことに決められました。そして、各町で推薦されたメンバーがそれぞれの委員会に別れて活躍することになりました。



■ 専門委員会活動開始

各専門委員会が開催されました。まず最初に決めたのが委員長です。お名前は次の通りです。

- ① 町並み景観
- ② 商業活性
- ③ 生活文化

以下、皆さんの町から推薦を受けた専門委員の方々を紹介します。町で考えてほしい課題がありましたら各自治会長や専門委員までお願いします。

□ 専門委員会委員名簿

● 町並み景観

● 商業活性

● 生活文化